## 祈りと愛情をもって 教皇様と共に

「教皇様がいつも私たちに伝えておられた心の平安を保ちつつ、愛する教皇ヨハネ・パウロ2世の容態を案じつつ時を過ごしています」とエチェバリーア司教

## 2005/04/01

教皇様がいつも私たちに伝えておられた心の平安を保ちつつ、愛する教皇ヨハネ・パウロ2世の容態を案じつつ時を過ごしています。

十字架の道行きを行いたい、また主 のご受難の黙想をしたいと教皇様が 望まれたという知らせを、今日耳に しました。

教皇さまの祈りに一致しましょう。 教皇様は、苦しみのうちにあっても ゆるぎない姿をはっきりと見せてお られます。それは、イエス・キリスト とともにいることから生まれる確か さです。

私は教皇様ご自身と、教皇様の心の中にあるすべてのことのために、祈っています。そして、神様が教皇様と共にいてくださり、ご自分の光で満たし、より深い平安をお与えくださるように祈ります。

多くの人たち、特にカトリック信者は、教皇様のベッドのお側で、昼夜を問わず絶えず共にいたいと望んでいることでしょう。祈りによってその望みを実現させることができます。今日は初金曜日です。ご聖体に

まします主に、私たちの愛する教皇 様のことをお願いするためのよい機 会です。

†ハビエル・エチェバリーア

オプス・デイ属人区長

ローマ、2005年4月1日

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/qi-ritoai-qing-womotsutejiao-huang-yang-togong-ni/ (2025/12/11)